

第2回 常磐公園の緑を考える集い いただいた御意見まとめ

項目	御意見	備考
樹木の管理	<p>老木や被害木を伐採する場合は、伐採前の樹木の状況や伐根の状況を記録し必要に応じて公表することとしてはどうか。この情報を集積することにより、将来、除去すべき樹木を判定する参考資料となると同時に市民も伐採したことについて納得ができる。伐根の見学会などで実態を見せることも有意義である。尚、対象木は直径30cm以上としてはどうか。樹木にナンバーをつけて台帳管理するということになっているが、管理に要する経費は税金で費用対効果が低いので、実施方法について検討すべきである。</p>	
	<p>空き地が目立ち、樹木の老木が多くなってきたので市民参加型の植樹を望みます。</p>	
	<p>老木が多くなってきたので、安心安全が第一と考えます。</p>	
	<p>公園内に点在する伐根（高さ0.3～1.0m位もの複数）は、あえて残しているものなのでしょうか。かなり腐ってきているものもありますが、これらは地際から落として、自然植生の進入等を待ったら如何でしょう。</p>	
	<p>公園の主役は樹木であるが、市民の樹木に対する理解が不足している。樹木に対する学習の機会を考えてはどうか</p>	
公園の美化	<p>中低木がないので次世代への心配があります。後継木を植えていくことを考える。遊歩道と芝地の境には低い縁石がありますが、芝地の中の樹木はどれも大木で中には「シロヤナギ」のように貴重なものもあります。又、コウモリの営巣するドロの木のかたまりもあります。葉が広がってる分、根もその広さと聞いています。安心安全、又樹木を守る為にも遊歩道と芝地の縁石の部分に、もう少し人の目にわかりやすい方法は考えられないでしょうか。</p>	<p>今後の集いにおいて、協議する機会を設けたいと思います。</p>
	<p>公園内の手入れや清掃がすばらしいと思います。</p>	
	<p>公園内を流れる小川の河床清掃はなされているのでしょうか。鯉がはねたらヘドロのようなものが、浮かび上がってきますし、ブクブクと気泡の上がっているところもあります。対処すべしと思います。</p>	
	<p>池をきれいにする。</p> <p>私が保育所の遠足できたところ。懐かしいです。常磐公園をもっときれいに、池は特に浄化すべき。</p>	

<p>パンフレット作成</p>	<p>直接関係ないと思いますが、JR旭川駅内の旭川観光物産情報センター等においてありました常磐公園のパンフレット（平成25年5月旭川市公園緑地協会発行）がなくなっていました。再発行はしないとの話を聞きました。残念至極です。再考を願います。</p> <p>略地図等の作成・・・入口、散策路、駐車場、花壇、草地、自由広場、、施設、千鳥ヶ池などの水域、水の浄化、水質調査、水量の確保の必要性、危険木（落枝、倒木など）、石碑など</p> <p>草花の写真と名称が一覧してあれば素人でも名前を覚えやすいと思います。</p> <p>常磐公園についての楽しいイラスト入りのかわいらしいパンフレットを作るのはどうでしょうか。（公園内に立て札などは少ない方がよい）</p> <p>1995年中央図書館で発行した「常磐公園ガイドブック」のような冊子が欲しいです。常磐公園の四季の美しさを多くの人に知らせたい。これからも緑にあふれた公園を守り育てていきたい。</p> <p>記念碑等に説明など見やすくわかりやすくしていただきたい。</p> <p>宝物が沢山つまった公園です。この公園の中の1つ1つが歴史を刻んできた証です。こうしたものを1つ1つ拾って説明する（語るも良いが、読ませることも大切）ためマニュアル作りをしてはどうだろう。それこそがボランティアで分野別に作業班を設けて協力し、まとめることができれば宝が生かされるでしょう。</p>	<p>現パンフレットを刷る予定はありませんが、改訂した新しいパンフレットを作成する予定です。今後の集いにおいて、協議する機会を設けたいと思います。</p>
<p>施設整備関係</p>	<p>先日、説明案内された地点に、案内板または説明の立て札など設置されたら歩いている方々にも興味がわくのではと思います。</p> <p>公園内に景色を楽しみながら「一休み」出来るような茶屋みたいな施設を造って欲しいと思っています。（市民はもとより、旭川を訪れる観光客の人たちのためにも是非）</p> <p>食堂等をもっと増やし、動物園のように有名に。</p> <p>樹木の名を知らせるなどは良いと思いますが、出来るだけ人工物は増やさず景観の美しさを大切にしたい。</p>	<p>今後の集いにおいて、協議する機会を設けたいと思います。</p>
<p>集いのあり方</p>	<p>これまで会議やこの種の集いの参加者の顔ぶれはほとんど同じで、そのため発言内容が固定化されている。、これを持って市民の声を聞いたことでよいのか疑問が残る。</p> <p>常磐公園は100年の歴史のなかで生きもの（もちろん人間も）にとってやさしい公園だったと思います。この事を市の方たちと考え合う「みどりを考える集い」の企画が嬉しく思います。</p> <p>常磐公園のみかたにいろいろな考えの方がいると思います。つどいで考え合うことが大事だと思います。市側からも大切にしたいことははっきり言ってほしい。</p> <p>都市公園の定義にこだわらず、自然度の高い公園にするためにはどうしたらよいか。この中には利用する側の利便も考え合わせもつことも必要ですので、色々な意見があると思いますが接点を見出すためにも、良し悪しでない考える力をみたいものです。</p>	<p>集いを進めるにあたり、参考といたします。</p>

<p>未来への 展望・希望</p>	<p>常磐公園は市民の各階層に最も多く利用されている。数年にわたって審議されてきた公園の問題も方向性は示されたものの、実現するには各階層や利用している市民、特に未来を担う小中学生や高校生などの若者の公園に対する思いを聞いて形にしたい。</p> <p>旭川を語る時「常磐公園」のことが語る中に入ってくるような「常磐公園」であってほしい。「市民から愛される常磐公園」であってほしい。子供の頃、若い頃常磐公園でつくられた思い出は年を経ても生き生きと残っています。今の子供達、若い人にも「常磐公園でこんなことあったね」と思いが残ってくるような公園であってほしいと思います。時のつながるものを大切にしていきたいですね。その中ををゆっくりとゆったりと歩き楽しめる公園であってほしいと思います。きれいな池で魚が泳ぎ、ボートを楽しみ、鳥たちの声を聞きその姿を追う楽しみ、春夏の樹木の緑、秋の紅(黄)葉、そして静かな冬の木立ち。小さな森がそこにあるような常磐公園であってほしいと思っています。</p> <p>市内にはたくさんの公園があります。市中心にありながら常磐公園は長い間人々と共にありました。その姿を変えないで繋げていきたい。市民の方に知って欲しい、知らせていきたいと思っています。心が和む場所として草地を大事にしたい。池の水、白鳥の池につづく水路などきれいにし、水の流れがほしい。巨木があり大事にしたい(どんな木も)。</p> <p>紅・黄葉も後半になりました。枝にはまだ葉が残り、下を見れば早くして落ちた様々な色の葉、葉、葉...。この時期、私が最も好きな光景です。まるで、パッチワークのように所々に緑の草の色もありよいですね。カサカサ落葉を踏んで歩くのも好きです。(子供たちも楽しそうです。)が、しばらくすると作業員の方が吸い取ってしまいます。車の多い大通りならいろいろ支障もあり落葉を掃除するのは当然だと思います。しかし、公園ではどうでしょうか。そのままにすれば、土に戻り公園の土壌が豊かになるのでは、と感じます。木の根元に集めることは、木のためには良くありません。でも落ちたままにしておく「公園がきたない」と感じる人が少数でもいるのでしょうか。</p> <p>昨年秋、チェコのプラハ市内の公園、ポーランド・ワルシャワの公園をいくつか見ました。木の枝は一度も切ったあとはなし、皆伸び伸びと枝を伸ばしていました。そして、落葉はそのまま。その中を人々がゆっくり散歩し、ベンチに座り、良い時間を過ごしていました。勿論、大通りの歩道並木の落葉も美しい模様でした。これを美しいと感じる方が少数派なののでしょうか。この時期必ず思うことです。</p>	<p>今後の集いにおいて、協議する機会を設けたいと思います。</p>
<p>そのた</p>	<p>常磐公園にはいろいろなボランティアでやって欲しい。これから65歳以上の人が多く有効に使って欲しい。もっと旭川拠点として楽しめる場所にしたい。</p> <p>公園利用上の注意事項、利用者の安全確保、事故対策 今後の整備計画 予算関係・・・国の予算による事業はありますか。 責任の所在・・・公園の管理責任者は</p> <p>車椅子の方のため舗装の道を造ったとありますが、斜面を自転車がスピード出して通ります。斜面は自転車を降りて欲しい。</p> <p>公園みどり課のみなさんとじっくりフリートークを楽しみたいものです。</p>	<p>大きな整備計画は現在のところありません。</p>